

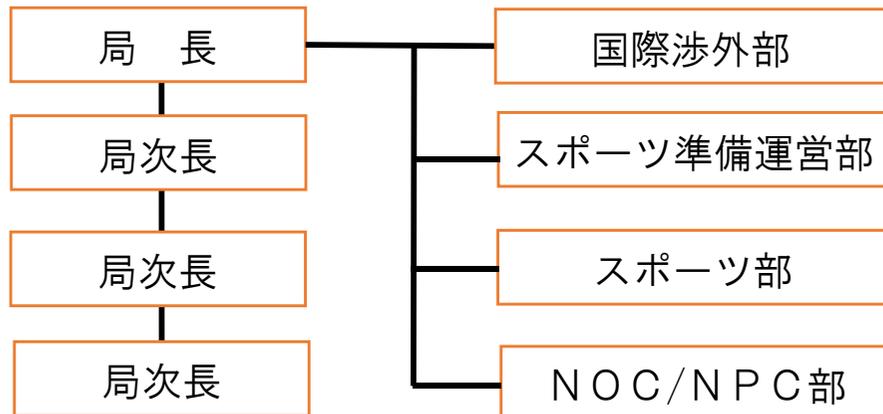
国際渉外・スポーツ局の組織改正について

○東京2020大会に向けて、今後、IOC/IPC、各国・地域オリンピック・パラリンピック委員会（NOC/NPC）、国際競技連盟（IF）及び国内競技団体（NF）との調整が本格化することから、アスリートファーストの理念のもと、組織体制をより一層強化するため、平成28年10月1日より「国際渉外・スポーツ局」を「国際渉外局」及び「スポーツ局」に分割する。

○上記のとおり、事務局規程を改正する。

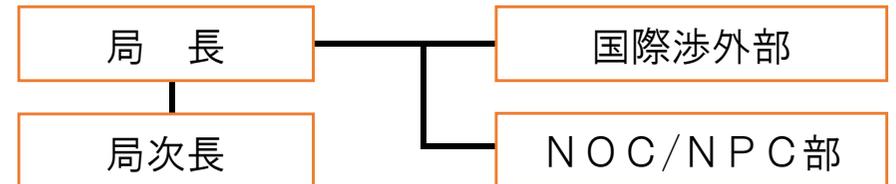
現 行

国際渉外・スポーツ局

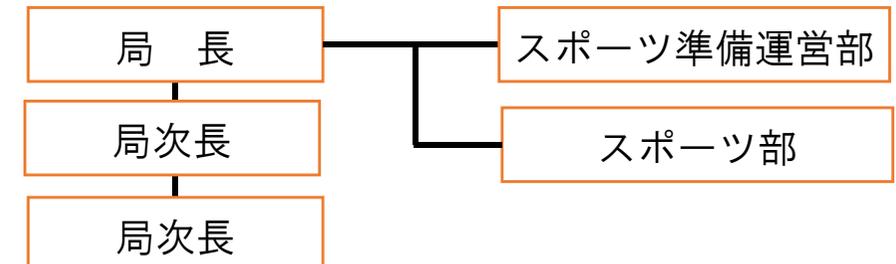


改正後

国際渉外局



スポーツ局





東京2020参画プログラムについて

2016年9月29日

1. 東京2020参画プログラムとは

～オリンピック・パラリンピックは参加することに意義がある～ ※1

東京2020大会ビジョン

スポーツには世界と未来を変える力がある。

- ・すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）
- ・一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）
- ・そして、未来につなげよう（未来への継承）

ビジョンの提示

アクション& レガシープラン2016

東京2020大会に参画しよう。そして、未来につなげよう。

- ・一人でも多くの方が参画【アクション】し、大会をきっかけにしたアクションの成果を未来に継承する【レガシー】ためのプラン

アクションやレガシーの方向性等を提示

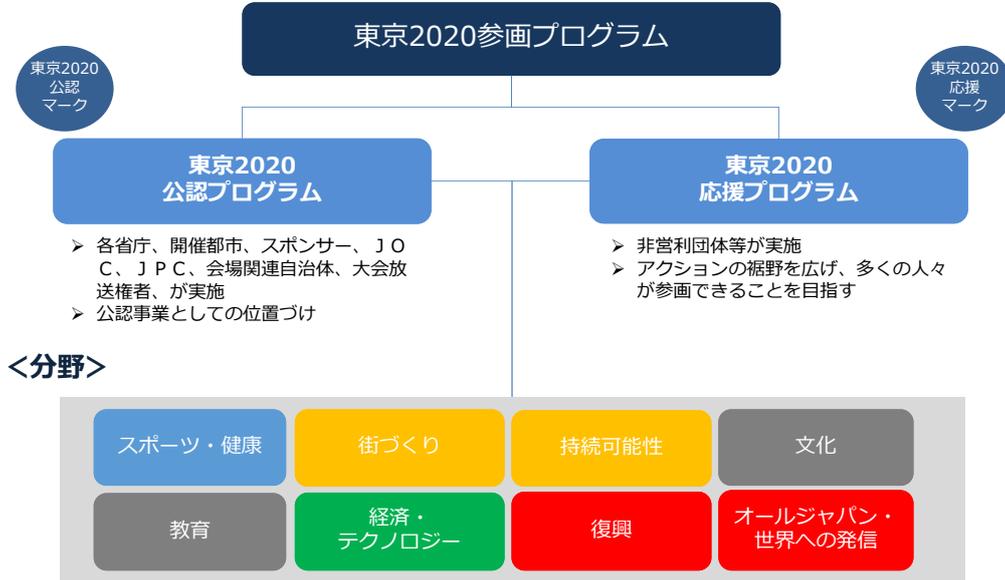
東京2020 参画プログラム

様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら大会に向けた参画・機運醸成・レガシー創出に向けたアクション（イベント、事業等）が実施できる仕組み
（組織・団体のアクションへの認証・マーク付与）※

※大会エンブレムは、使用が認められる組織・団体に対して付与されるもの

2. プログラムの枠組み

<2つのプログラム>



2

TOKYO 2020

3. 2016年10月からの対象団体

【2016年10月開始】

東京2020公認プログラム
〈東京2020公認マーク付与〉

- 政府（各省庁）
- 開催都市（東京都・区市町村）
- スポンサー
- JOC、JPC
- 会場関連自治体（道県・市町）
- 大会放送権者

【2017年度開始。2016年10月から一部先行開始】

東京2020応援プログラム
〈東京2020応援マーク付与〉（※1）

- | | |
|----------------|--------------------|
| ● スポーツ関連 | ● 経済関連 |
| ● 日本障がい者スポーツ協会 | ● 経済界協議会 |
| ● 日本スポーツ振興センター | （構成団体※含む） |
| ● 日本体育協会 | |
| ● 文化関連 | ● 地域関連 |
| ● 日本芸術文化振興会 | ● 会場関連自治体以外の府県、政令市 |
| ● 国際交流基金 | |
| ● 東京都歴史文化財団 | |
| ● 日本芸能実演家団体協議会 | |

※1：2016年10月からの対象は、原則として組織委員会が直接申請を受け付ける団体とし、今後、会場関連自治体以外の市町村や非営利団体などに、順次拡大する予定

※構成団体：日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

3

TOKYO 2020

4. 認証の現状 (9月27日時点)

- ▶ 2016年8月15日から受付を開始
- ▶ コールセンターへの問い合わせ **約200件** (累計)

【認証状況】

- ▶ アクション申請 **約60件** (対象団体約200団体)
- ※教育の学校事業認証プログラムについては、別途10月から申請受付開始予定

【認証アクション例】

- ▶ スポーツ大会、競技体験イベント、アスリート情報の発信
- ▶ 防災に関する事業
- ▶ 演劇、伝統芸能、ダンス、音楽等に関する公演
- ▶ スポーツ関係、大会関係者による講演
- ▶ 東京2020大会を盛り上げるためのワークショップ
- ▶ オリンピック・パラリンピックに関する写真展 等

5. 主なアクション事例

スポーツ・健康

10月10日 渋谷地域での連携型イベントPRについて

事業趣旨		主催等																	
<ul style="list-style-type: none"> ● 体育の日制定50周年の節目の日に実施される渋谷地域の大型イベントに対し、東京2020組織委員会として協力 ● 代々木公園にブースを設置、同日放送のNHK特集番組と連携し相乗効果を活かしながら機運醸成を図る ● 若者層が集まる渋谷という特性を踏まえ、追加種目を中心に東京2020全体のPR展開を実施 		<table border="1"> <tr> <td>主催</td> <td>「TOKYOどこでも競技場@渋谷」実行委員会(NHK、地区商店街ほか)</td> </tr> <tr> <td>共催</td> <td>渋谷区</td> </tr> <tr> <td>後援 <small>(※事業①のみ)</small></td> <td>東京都 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会</td> </tr> <tr> <td>協力</td> <td>東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</td> </tr> </table>		主催	「TOKYOどこでも競技場@渋谷」実行委員会(NHK、地区商店街ほか)	共催	渋谷区	後援 <small>(※事業①のみ)</small>	東京都 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会	協力	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会								
主催	「TOKYOどこでも競技場@渋谷」実行委員会(NHK、地区商店街ほか)																		
共催	渋谷区																		
後援 <small>(※事業①のみ)</small>	東京都 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会																		
協力	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会																		
事業①	事業②																		
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>TOKYO どこでも競技場@渋谷</td> </tr> <tr> <td>日程</td> <td>2016年10月10日(月・祝) 14:00~16:00(予定)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>渋谷道玄坂~109前~東急本店</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>渋谷地域の道路上で、レースレーンやコートを設置、アスリートがパフォーマンスを披露</td> </tr> </table>  <p style="text-align: right; font-size: small;">©ZENRIN(Z16LL 第074号)</p>	事業名	TOKYO どこでも競技場@渋谷	日程	2016年10月10日(月・祝) 14:00~16:00(予定)	場所	渋谷道玄坂~109前~東急本店	概要	渋谷地域の道路上で、レースレーンやコートを設置、アスリートがパフォーマンスを披露	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>TOKYO2020 追加種目みんな応援 キックオフイベント</td> </tr> <tr> <td>日程</td> <td>2016年10月10日(月・祝) 10:00~18:00(予定)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>代々木公園けやき並木(NHK放送センター前組織委員会ブース)</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td>東京2020大会追加種目(野球・ソフトボール、空手、スポーツクライミング、サーフィン、スケートボード)のPR(競技紹介、パネル展示、アスリートによるトーク)等を実施</td> </tr> </table>  <p style="text-align: right; font-size: small;">©ZENRIN(Z16LL 第074号)</p>	事業名	TOKYO2020 追加種目みんな応援 キックオフイベント	日程	2016年10月10日(月・祝) 10:00~18:00(予定)	場所	代々木公園けやき並木(NHK放送センター前組織委員会ブース)	概要	東京2020大会追加種目(野球・ソフトボール、空手、スポーツクライミング、サーフィン、スケートボード)のPR(競技紹介、パネル展示、アスリートによるトーク)等を実施		
事業名	TOKYO どこでも競技場@渋谷																		
日程	2016年10月10日(月・祝) 14:00~16:00(予定)																		
場所	渋谷道玄坂~109前~東急本店																		
概要	渋谷地域の道路上で、レースレーンやコートを設置、アスリートがパフォーマンスを披露																		
事業名	TOKYO2020 追加種目みんな応援 キックオフイベント																		
日程	2016年10月10日(月・祝) 10:00~18:00(予定)																		
場所	代々木公園けやき並木(NHK放送センター前組織委員会ブース)																		
概要	東京2020大会追加種目(野球・ソフトボール、空手、スポーツクライミング、サーフィン、スケートボード)のPR(競技紹介、パネル展示、アスリートによるトーク)等を実施																		
NHKの放送番組																			
<table border="1"> <tr> <td>番組名</td> <td>NHK総合テレビ 特集 「東京2020 12時間スペシャル ⇒2020」</td> <td>放送日時</td> <td>平成28年10月10日(月・祝) 8:15~20:45(予定)</td> </tr> </table>		番組名	NHK総合テレビ 特集 「東京2020 12時間スペシャル ⇒2020」	放送日時	平成28年10月10日(月・祝) 8:15~20:45(予定)														
番組名	NHK総合テレビ 特集 「東京2020 12時間スペシャル ⇒2020」	放送日時	平成28年10月10日(月・祝) 8:15~20:45(予定)																
<table border="1"> <tr> <td>概要</td> <td colspan="3">12時間の特集番組で、東京2020に関する話題を取り上げる。その中で10時台は、組織委員会ブースをサテライトスタジオとして、ブース紹介や首都圏各地の取組みなどを紹介する。</td> </tr> </table>				概要	12時間の特集番組で、東京2020に関する話題を取り上げる。その中で10時台は、組織委員会ブースをサテライトスタジオとして、ブース紹介や首都圏各地の取組みなどを紹介する。														
概要	12時間の特集番組で、東京2020に関する話題を取り上げる。その中で10時台は、組織委員会ブースをサテライトスタジオとして、ブース紹介や首都圏各地の取組みなどを紹介する。																		

5. 主なアクション事例

スポーツ・健康

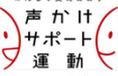
政府主催のスポーツセッション「オリンピック・パラリンピックがもたらすレガシー」

<p>事業趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本件は、政府主催の「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」のプログラム。 ● 「アスリート・ファースト」を掲げる東京2020大会に向けてどのようなアクションを起こすべきか、様々なレガシーの中でも、特にスポーツ分野に重点を置き、どのようなレガシーを残すべきか議論するセッション。 ● IOC・IPC・政府・組織委員会が一堂に会して、アスリートと交えて、大会のレガシーについて議論することにより、オリンピック・パラリンピックムーブメントを喚起。 ● 組織委員会からは、武藤事務総長がアクション&レガシープランについて説明し、室伏SDがパネルディスカッションのモデレーターとして登壇。 	<p>主催等</p> <p>主催 文部科学省、スポーツ庁</p> <p>主な登壇者 議長(政府関係者、調整中)、IOC関係者、IPC関係者、組織委員会:武藤事務総長、室伏スポーツディレクター、ロンドン大会関係者、オリンピック・パラリンピアン:小谷実可子、田口亜希、東京都(調整中)</p>
<p>事業概要</p> <p>日程 平成28年10月21日(金)10:00~12:00</p> <p>場所 グランドハイアット東京 グランドホールルーム</p> <p>テーマ 「オリンピック・パラリンピックがもたらすレガシー」</p> <p>内容 過去大会のレガシー事例やその取り組みも参考しつつ、政府の考え方や組織委員会が策定するアクション&レガシープランについて意見交換を行うとともに、我が国が創出すべきレガシーについて議論を深めるための講演やパネルディスカッション</p> <p>組織委員会からの登壇者</p>  <p>武藤事務総長</p>  <p>室伏スポーツディレクター</p>	<p>内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 議長挨拶 ● 講演「東京大会が目指すアクション&レガシー」:武藤総長 ● ロンドン大会のレガシー:調整中 ● 講演「オリンピックから見たレガシー」:小谷実可子 ● 講演「パラリンピアンから見たレガシー」:田口亜希 ● 東京大会に関するパネルディスカッション モデレーター:室伏SD ● パネリスト:IOC関係者、IPC関係者、小谷実可子、田口亜希 ● 議長全体まとめ

5. 主なアクション事例

街づくり

防災体験学習施設「そなエリア東京」親子見学会

<p>事業趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は東商が実施している「声かけ・サポート運動」の一環で行う取り組み。 ● 多言語対応や施設面のアクセシビリティ向上だけでなく、「声かけ・サポート運動」を推進することにより共助の心を、東京、ひいては日本全国に定着させ、2020年オリンピック・パラリンピックのソフト面でのレガシーとして未来に引き継いでいくことを目指す。 	<p>主催等</p> <p>主催 東京商工会議所</p>						
<p>事業概要</p> <p>日程 平成28年10月1日(土) 10:30~12:00</p> <p>場所 東京臨海広域防災公園 防災体験学習施設「そなエリア東京」</p> <p>対象 東京商工会議所会員企業の経営者・従業員及びその家族、地域住民</p> <p>内容 防災体験学習ツアー等を通じて、お子様の「防災教育」や「思いやりの心」を育み、家庭の防災対策を家族で見直す</p> <table border="1"> <tr> <td>1 防災体験学習「東京直下72時間ツアー」</td> <td>館内40分</td> </tr> <tr> <td>2 防災ブック「東京防災」のポイント解説</td> <td>館内30分</td> </tr> <tr> <td>3 館内「防災学習ゾーン」見学</td> <td>館内20分</td> </tr> </table> 	1 防災体験学習「東京直下72時間ツアー」	館内40分	2 防災ブック「東京防災」のポイント解説	館内30分	3 館内「防災学習ゾーン」見学	館内20分	<p>参考</p> <p>「声かけ・サポート」事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者や子ども、妊婦、子ども連れの方、障がい者、外国人等を社会全体で見守り支えあう機運を醸成させ、誰もが安心・安全、快適に暮らし過ごせる地域社会を実現するために善処的に推進している運動。 ● 高齢者や子ども、妊婦、子ども連れの方、障がい者、外国人をはじめ、街中など様々な場面で困っている人に気がついたら、積極的に「声かけ」する。 <p>日程 平成27年10月8日より開始</p> <p>対象 東京商工会議所の会員企業</p> <p>内容 賛同企業の募集 ロゴマークの展開、ポスター掲示 東京都との連携による、おもてなし講座や語学講座の開催</p>   <p>街中の外国の方の道案内等 おもてなしを学ぶ講座の開催</p>  <p>賛同企業の東日本旅客鉄道の活動例 ・23区内全駅にポスター掲出 ・パンフレットへの特集掲載 ・オリジナルポスターの作成</p>
1 防災体験学習「東京直下72時間ツアー」	館内40分						
2 防災ブック「東京防災」のポイント解説	館内30分						
3 館内「防災学習ゾーン」見学	館内20分						

5. 主なアクション事例

持続可能性

シンポジウム「Wonder Action Cafe」(東京湾大感謝祭2016)

<p>事業趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本件は「東京湾大感謝祭2016」にて同時開催される環境省主催のシンポジウム。 ● 本シンポジウムを通じて「東京湾大感謝祭2016」に会場した一般の聴衆に向けて、日常生活や経済活動によって環境負荷がかかっている東京湾について、便利で豊かな暮らしを享受しながら、環境に配慮した暮らしを考えるきっかけとすることを旨とする。 ● 日常生活や経済活動における気付きや行動の変化を促し、子どもたちの将来につながるような夢を発信するという点において、持続可能性レガシーとの親和性が高い。 	<p>主催等</p> <table border="1"> <tr> <td>主催</td> <td>環境省</td> </tr> <tr> <td>共催</td> <td>東京湾大感謝祭実行委員会</td> </tr> <tr> <td>出席者</td> <td>司会 栢太一(東京湾再生アンバサダー/日テレアナウンサー) 登壇者 小学生(よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト審査委員長賞受賞者)、環境省地球環境局、国土交通省関東地方整備局、環境省自然環境局、水産研究・教育機構(農林水産省)、文部科学省</td> </tr> </table>	主催	環境省	共催	東京湾大感謝祭実行委員会	出席者	司会 栢太一(東京湾再生アンバサダー/日テレアナウンサー) 登壇者 小学生(よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト審査委員長賞受賞者)、環境省地球環境局、国土交通省関東地方整備局、環境省自然環境局、水産研究・教育機構(農林水産省)、文部科学省																		
主催	環境省																								
共催	東京湾大感謝祭実行委員会																								
出席者	司会 栢太一(東京湾再生アンバサダー/日テレアナウンサー) 登壇者 小学生(よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト審査委員長賞受賞者)、環境省地球環境局、国土交通省関東地方整備局、環境省自然環境局、水産研究・教育機構(農林水産省)、文部科学省																								
<p>事業概要</p> <table border="1"> <tr> <td>日程</td> <td>平成28年10月22日(土) 13:30~15:00</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>イベント参加者(一般来訪者) 約300人(予定)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>司会1名(日テレアナウンサー)と、関係省庁等からのスピーカーによる映像を交えたクロストーク形式のシンポジウム(90分)</td> </tr> </table> <p>(参考:東京湾大感謝祭2016)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>東京湾大感謝祭2016</td> </tr> <tr> <td>日程</td> <td>平成28年10月21日(金)~23日(土) 10:00~17:00</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>横浜赤レンガ倉庫および倉庫周辺・海上</td> </tr> <tr> <td>主催</td> <td>東京湾大感謝祭実行委員会</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>8万8千名/3日間(前年度実績)</td> </tr> </table>	日程	平成28年10月22日(土) 13:30~15:00	場所	横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール	対象	イベント参加者(一般来訪者) 約300人(予定)	内容	司会1名(日テレアナウンサー)と、関係省庁等からのスピーカーによる映像を交えたクロストーク形式のシンポジウム(90分)	事業名	東京湾大感謝祭2016	日程	平成28年10月21日(金)~23日(土) 10:00~17:00	場所	横浜赤レンガ倉庫および倉庫周辺・海上	主催	東京湾大感謝祭実行委員会	参加人数	8万8千名/3日間(前年度実績)	<p>内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分</th> <th>トーク内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90分</td> <td>総合司会: 栢太一(日本テレビアナウンサー) ●子どもたちからのメッセージ/小学生 ー魚とアマモと私たちー ●地球目録 COOL CHOICE/環境省 ー低炭素社会につながる都市部でできる具体的なアクションー ●港から見た海の再生の輪の拡がり/国土交通省関東地方整備局 ー海の再生に向けた官民協働の取組みー ●森里海川のつながりと街の暮らし/環境省 ー都市部から見た森里海川のつながりー ●愛される付ける江戸前の恵み/水産研究・教育機構 ー江戸前の魚介と和食に見る文化ー ●学校で学ぶ・身近な自然から学ぶ/文部科学省 ー都市部における身近な自然と環境学習</td> <td>13:30-13:45 東京湾アンバサダー就任と海の再生について・栢太一氏 13:45-13:50 オープニングトーク・小学生 13:50-14:40 政策・事業・研究紹介 各10分×5名 14:40-15:00 クロストーク! 政策・事業・研究の関係性について、子どもたちへの期待など</td> </tr> </tbody> </table>  <p>環境省シンポジウム「Wonder Action Cafe」開催場所(赤レンガ倉庫1号館3階ホール) ※1号館のみ屋内。#2~4は屋外にて実施</p>	分	トーク内容	備考	90分	総合司会: 栢太一(日本テレビアナウンサー) ●子どもたちからのメッセージ/小学生 ー魚とアマモと私たちー ●地球目録 COOL CHOICE/環境省 ー低炭素社会につながる都市部でできる具体的なアクションー ●港から見た海の再生の輪の拡がり/国土交通省関東地方整備局 ー海の再生に向けた官民協働の取組みー ●森里海川のつながりと街の暮らし/環境省 ー都市部から見た森里海川のつながりー ●愛される付ける江戸前の恵み/水産研究・教育機構 ー江戸前の魚介と和食に見る文化ー ●学校で学ぶ・身近な自然から学ぶ/文部科学省 ー都市部における身近な自然と環境学習	13:30-13:45 東京湾アンバサダー就任と海の再生について・栢太一氏 13:45-13:50 オープニングトーク・小学生 13:50-14:40 政策・事業・研究紹介 各10分×5名 14:40-15:00 クロストーク! 政策・事業・研究の関係性について、子どもたちへの期待など
日程	平成28年10月22日(土) 13:30~15:00																								
場所	横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール																								
対象	イベント参加者(一般来訪者) 約300人(予定)																								
内容	司会1名(日テレアナウンサー)と、関係省庁等からのスピーカーによる映像を交えたクロストーク形式のシンポジウム(90分)																								
事業名	東京湾大感謝祭2016																								
日程	平成28年10月21日(金)~23日(土) 10:00~17:00																								
場所	横浜赤レンガ倉庫および倉庫周辺・海上																								
主催	東京湾大感謝祭実行委員会																								
参加人数	8万8千名/3日間(前年度実績)																								
分	トーク内容	備考																							
90分	総合司会: 栢太一(日本テレビアナウンサー) ●子どもたちからのメッセージ/小学生 ー魚とアマモと私たちー ●地球目録 COOL CHOICE/環境省 ー低炭素社会につながる都市部でできる具体的なアクションー ●港から見た海の再生の輪の拡がり/国土交通省関東地方整備局 ー海の再生に向けた官民協働の取組みー ●森里海川のつながりと街の暮らし/環境省 ー都市部から見た森里海川のつながりー ●愛される付ける江戸前の恵み/水産研究・教育機構 ー江戸前の魚介と和食に見る文化ー ●学校で学ぶ・身近な自然から学ぶ/文部科学省 ー都市部における身近な自然と環境学習	13:30-13:45 東京湾アンバサダー就任と海の再生について・栢太一氏 13:45-13:50 オープニングトーク・小学生 13:50-14:40 政策・事業・研究紹介 各10分×5名 14:40-15:00 クロストーク! 政策・事業・研究の関係性について、子どもたちへの期待など																							

5. 主なアクション事例

文化

幕開き 日本橋 ~東京2020文化オリンピックキックオフ~

<p>事業趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、東京2020大会までの4年間にわたる「東京2020文化オリンピック」のキックオフプログラムを実施。 ● 本プログラムでは、江戸の文化の発信地であり、五街道の起点にもなった日本橋から、文化オリンピックのキックオフを宣言し、全国津々浦々での参画を呼びかける。また、伝統×革新をテーマとした祝祭的なパフォーマンスによって、日本文化の魅力を国内外に発信。 	<p>主催</p> <p>東京都 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 アートカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) 三井不動産株式会社</p>				
<p>事業概要</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>平成28年10月7日(金) ・セレモニー開始13:30 ・パフォーマンス開演14:10(予定)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>日本橋 福徳の森 野外ステージ (東京都中央区日本橋室町)</td> </tr> </table>  <p>【特設ステージイメージ】</p>	日時	平成28年10月7日(金) ・セレモニー開始13:30 ・パフォーマンス開演14:10(予定)	開催場所	日本橋 福徳の森 野外ステージ (東京都中央区日本橋室町)	<p>事業内容</p> <p><セレモニー> ・主催者、来賓者挨拶 ・フォトセッション ほか 【登壇予定者】 東京都知事 小池百合子 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長 森喜朗 公益財団法人東京都歴史文化財団 理事長 日枝久 三井不動産株式会社 代表取締役社長 荻田正信 ほか 【司会】 SHELLY</p> <p><パフォーマンス> 日本の伝統芸能と現代が共存・融合する、独自性と多様性を追求した祝祭的なステージ。映像等を利用した現代的な演出と一流の演者による本格的な伝統芸能が融合し、日本文化が未来へ飛翔していくことをイメージした、力のあるパフォーマンス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞踊「三番叟(さんばそう)」 出演者: 日本舞踊家 宗家藤間流八世宗家 藤間勤十郎 ほか ・装束付舞囃子「吉野天人」 出演者: 能楽観世流シテ方能楽師 重要無形文化財保持者 梅若玄祥 ほか ・監修: 藤間勤十郎   <p>【藤間勤十郎】 【梅若玄祥】</p>
日時	平成28年10月7日(金) ・セレモニー開始13:30 ・パフォーマンス開演14:10(予定)				
開催場所	日本橋 福徳の森 野外ステージ (東京都中央区日本橋室町)				

5. 主なアクション事例

文化

1万人のゴールド・シアター2016

<p>事業趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 彩の国さいたま芸術劇場芸術監督・蛭川幸雄の発案で2006年に発足し、今年、平均年齢が77歳になる高齢者演劇集団「さいたまゴールド・シアター」。シルバーではなくゴールド！高齢者（シルバー世代）がゴールドに輝く演劇を創りたいという演出家・蛭川幸雄の思いをのせて、精力的な活動を続けてきた。 ● 人生経験に裏打ちされた高齢者ならではの演劇表現を目指す世界に類をみないこの試みは、日本国内のみならず海外からも熱い注目を集めている。 ● 「さいたまゴールド・シアター」が結成10周年を迎える2016年、彩の国さいたま芸術劇場は、彼らとともに、さらなる異例の挑戦に乗りだす。それが「1万人のゴールド・シアター」。 ● 「1万人のゴールド・シアター」は、東京2020文化オリンピックとして埼玉県と埼玉県芸術文化振興財団が共同で取り組む前代未聞の演劇企画で、一般参加の高齢者と「さいたまゴールド・シアター」との共演による、1万人規模の大群集劇の上演を目指すもの。 ● 2016年はそのキックオフ・イヤー。「1万人のゴールド・シアター2016」と銘打ち、蛭川幸雄氏の企画・原案に基づき開催。 	<p>事業内容</p> <p>＜一般参加者応募要件＞</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 60歳以上（平成28年12月31日時点の年齢） (2) 演技の経験は問わない。 ※全国各地から1900人を超える応募者。 <p>＜公演概要＞</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) タイトル 「金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～」 (2) 出演 一般参加者、さいたまゴールド・シアター、さいたまネクスト・シアター（蛭川が育てた芸術劇場の若手演劇集団）、こまどり姉妹、木場勝己 ほか (3) チケット 一般 3,300円（当日 3,500円）高校生以下 1,000円 10月10日（月・祝）販売開始 <p>＜スケジュール＞</p> <p>4月～6月 参加者募集 6月～7月 説明会（会場：彩の国さいたま芸術劇場） 7・9月～11月 稽古（会場：彩の国さいたま芸術劇場・さいたま市記念総合体育館） 12月6日（火）舞台稽古 ※全員で本番同様の稽古を行います。（会場：さいたまスーパーアリーナ） 12月7日（水）舞台稽古・公演本番（会場：さいたまスーパーアリーナ）</p>
<p>事業概要</p> <p>開催日：平成28年12月7日（水） 会場：さいたまスーパーアリーナ</p> <p>企画・原案：蛭川幸雄（演出家・彩の国さいたま芸術劇場芸術監督） 企画・構成：加藤種男（さいたまトリエンナーレ総合アドバイザー） 脚本・演出：ノゾ征雨（脚本家・演出家・俳優・劇団「はえぎわ」主宰）</p>	 <p>さいたまゴールド・シアター稽古風景（蛭川監督と俳優たち・2007年撮影） ©宮川舞子 稽古で思い思いの表現をぶつける一般出演者たち（2016年7月撮影） ©宮川舞子</p>
<p>事業体制</p> <p>主催：埼玉県、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（彩の国さいたま芸術劇場） 開催協力：さいたま市、協力：さいたまトリエンナーレ実行委員会 助成：文化庁、一般財団法人地域創造</p>	<p>10</p>

5. 主なアクション事例

教育

東京2020オリンピック・パラリンピック教育フェスティバル

※理事会前のイベント
※認証開始日前のイベントのため認証対象外

<p>事業趣旨</p> <p>本イベントは、東京都、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が、東京2020教育プログラム（愛称「よしい、ドン！」）のキックオフとして、東京都のオリンピック・パラリンピック教育を加速するために主催するもの。</p> <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2016年リオジャネイロ大会開催の機会を捉えて、児童・生徒が体験や活動を通じてオリンピックやパラリンピックについて学ぶ機会を提供する。 ② 東京都におけるオリンピック・パラリンピック教育の取組を広く紹介することにより、今後の教育を加速させるための機運醸成を図る。 	<p>主催</p> <p>主催 東京都教育委員会 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</p>				
<p>事業概要</p> <p>日程 平成28年9月19日（月・祝） 場所 都内 2箇所にて開催</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 上野恩賜公園 竹の台広場（東京都台東区上野公園池之端三丁目） (2) 国営昭和記念公園 ゆめひろば（東京都立川市緑町3173） ※「東京2020ライブサイトin 2016 リオから東京へ」と同一会場で開催 <p>内容</p> <p>上野会場（ブラインドサッカー体験の様子） 立川会場（ステージイベントの様子）</p>	<p>スケジュール</p> <p>日程 平成28年9月19日（月・祝） 実施時間 閉会式／ハンドオーバーセレモニー 8:00～10:15 【第1部】オリパラ教育フェスティバル 11:00～13:00 【第2部】オリパラ教育フェスティバル 13:40～15:40 ※1部・2部 同じ内容を実施</p> <p>参加者 事前応募のあった、都内の小・中・高校生およそ計1,250人（両会場の総数）が参加</p> <p>全体概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ステージイベント 約30分 都知事から児童・生徒に向けたメッセージ映像上映 オリンピック・パラリンピック教育に関する映像上映 オリンピック・パラリンピアン等によるトーク ② 競技体験・展示 約90分 オリンピックスポーツ、パラリンピックスポーツ、障害者スポーツ等体験 <table border="1" data-bbox="869 1769 1292 1870"> <thead> <tr> <th>上野恩賜公園</th> <th>国営昭和記念公園</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブラインドサッカー ボッチャ トランボリン 車椅子バスケットボール 視覚体験</td> <td>ブラインドサッカー ボッチャ トランボリン スポーツクイズ 走り方教壇</td> </tr> </tbody> </table> <p>他) 都立白鷲高校とリオ州立エリック・ヴァルテル・ハイネ高校の交流プログラムの展示紹介 オリンピック・パラリンピック教育スタート宣言 記念撮影</p> <p>■ ボランティアについて 都立高校生がボランティアとして運営を補助</p>	上野恩賜公園	国営昭和記念公園	ブラインドサッカー ボッチャ トランボリン 車椅子バスケットボール 視覚体験	ブラインドサッカー ボッチャ トランボリン スポーツクイズ 走り方教壇
上野恩賜公園	国営昭和記念公園				
ブラインドサッカー ボッチャ トランボリン 車椅子バスケットボール 視覚体験	ブラインドサッカー ボッチャ トランボリン スポーツクイズ 走り方教壇				

11

5. 主なアクション事例

教育

IOC オリンピック教育教材(OVEP2.0)研修会及びスポーツ・カンファレンス

事業主旨

本イベントは、筑波大学が主催、組織委員会が共催し以下の内容にて構成される。組織委員会としては、教育プログラムの全国展開キックオフイベントとして位置づける。

- ①オリンピック教育プログラムを推進していくためのキックオフとして、IOCが開発するオリンピックの価値教育プログラム(OVEP2.0)の説明会及び教員研修を実施。
- ②アジアのIOC委員を招聘してスポーツや文化に係る国際貢献やレガシー等に関する議論を行うことにより、オリンピック・パラリンピックムーブメントを喚起。
- ③IOCバハ会長の筑波大学名誉博士号授与式及び、オリンピック教育に関する基調講演の実施。

事業概要

日程	平成28年 10月18日(火)、19日(水)、20日(木) 3日間
場所	都内2箇所にて開催予定 (1)組織委員会 虎ノ門オフィス(18日) (2)筑波大学東京キャンパス文京校舎(19日、20日)
内容	10月18日(火):IOCによるオリンピック教育教材(OVEP2.0)研修会 10月19日(水):スポーツ・文化 公開シンポジウム 10月20日(木):IOCトーマス・バハ会長 来日記念特別式典



主催

主催	10月18日:筑波大学 オリンピック教育プラットフォーム 10月19日及び20日:筑波大学 つくば国際スポーツアカデミー(TIAS)
共催	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

スケジュール

平成28年10月18日(火) IOCによるオリンピック教育教材(OVEP2.0)研修会

- 会場:組織委員会 虎ノ門オフィス(役員会議室)
- 目的:IOCが開発したOVEP2.0を学校教育において如何に活用できるかを教育関係者で議論する。また、東京都スポーツ庁の先行事業で既にオリンピック・パラリンピック教育に取り組んでいる教員を対象に、IOCが招聘する専門家及びIOC職員が、本教材の活用方法に関する研修を行う。
- 内容:OVEP2.0に関する説明(第1部)、教員研修(第2部)
- 対象:教員(30名程度)、東京都庁、スポーツ庁、JOC、JPC等

平成28年10月19日(水) 公開シンポジウム

- 会場:筑波大学東京キャンパス文京校舎多目的講義室1
- 内容:
○10:00-10:50 基調講演
第1部:有森裕子「オリンピックが平和に対して果たす役割」
○11:00-12:00 パネルディスカッション
【テーマ】東アジアにおける平和をスポーツから考える
パネリスト(いずれもIOC委員)
長峰国(ウチンクオ):IOC理事・国際アマチュアボクシング協会会長など
セルミヤン・ワン:シンガポール:IOC委員・IOC財務委員長など
○13:30- 学校訪問セッション(於:筑波大学附属大塚特別支援学校) 等
- 対象:スポーツ・フォーラムメンバー、TIAS-A法人会員、TIAS学生等

平成28年10月20日(木) IOCトーマス・バハ会長 来日記念特別式典

- 会場:筑波大学東京キャンパス文京校舎多目的講義室1
- 内容:
○9:30-11:00 トーマス・バハ会長 筑波大学名誉博士号授与式・特別講演
○11:00-12:00 学生発表会
- 対象:大臣等、スポーツ庁、JOC、JSC、筑波大学附属学校及び筑波大学生(TIAS学生含む)

12

5. 主なアクション事例

経済・テクノロジー

東京2020アイデアソン Vol.1 パラリンピックをテクノロジーで盛り上げよう ～「車椅子バスケットボール × テクノロジー = ファン拡大」～

事業主旨

- 東京2020大会に向けて、若い世代の参加意欲を高め、大会の成功に向けてポジティブな影響を及ぼすために、18歳以上の学生などを対象とした参加者公募型のアイデアソンを開催。
- 第1回目のテーマは「パラリンピックをテクノロジーで盛り上げよう」。パラリンピック競技観戦(とくに車椅子バスケットボール)を取り上げ、テクノロジーを活用して、これまでにない視点からの見せ方や新しい楽しみ方の工夫を考えてもらい、創出したアイデアを競い合う。
- 高い評価を得たアイデアは、主催に関わる組織委員会やパートナーが大会本番に向けた実用化を支援する。

※アイデアソンとは、アイデアとマラソンを合わせた造語。各種の課題・テーマをとりあげ、その解決に向けて様々な専門分野の学生などからなるチームを構成し、アイデアを創造し競い合うイベントのこと。

事業概要

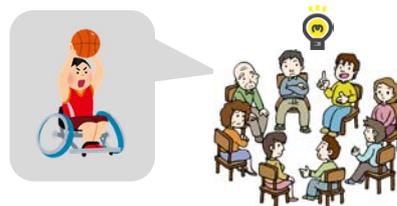
日程	平成28年10月上旬～11月上旬 参加者公募、選考 平成28年11月16日(水) フィールドワーク①(予定(リオ大会の競技上映会を調整中)) 平成28年11月26日(土) フィールドワーク②(車椅子バスケットボール試合観戦を調整中) 平成28年11月27日(日) アイデアソン開催
開催場所	組織委員会 Tokyo会議室
テーマ(第1回)	Vol.1 パラリンピックをテクノロジーで盛り上げよう ～「車椅子バスケットボール × テクノロジー = ファン拡大」～
参加対象	18歳以上の学生、学部学科や専攻は不問 応募者多数の場合は、応募動機などをとに40名程度を選考

主催等

主催	東京2020アイデアソン実行委員会(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、賛同するパートナー企業)
主な協力者	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人日本車椅子バスケットボール連盟 その他調整中

今後の展開

- テーマを変えて年1～2回の開催を予定。
(第2回目以降のテーマ案【検討中】:「より効果的なボランティア育成プログラムとは?」「被災地での競技開催を世界にアピールするには?」など)
- イベントをとおして「競技運営に関わる人々の現場の課題解決」に貢献してもらうことで、参加者の達成感とファン・コミュニティ形成を狙う。
- イベント開催後もSNSなどをとおして、よりオープンな議論を促すことで、コミュニティの広がりを目指す。
- イベント運営そのものにも、学生など若い世代が参加できるしくみ(インターシップ制度など)を検討中。



13

5. 主なアクション事例

経済・テクノロジー

CEATEC JAPAN 2016

事業主旨		主催等 (予定)									
<ul style="list-style-type: none"> ● 2020年を見据えたテクノロジー発信のイベントとしてCEATEC JAPANを位置づけ、本年から経済界協議会※とも連携して開催する予定 ● また、本年は多くのスポンサー企業が出展予定 (NEC、NHK、NTT、セコム、デンソー、トヨタ自動車、パナソニック、富士通、三菱電機) ● 組織委員会としてもゲストスピーカーやライセンスグッズ販売等で連携・協力を行う <p>※経済界協議会とは、経済界全体として東京2020大会を支援するために設立された、経団連・商工会議所、同友会で構成される任意団体のことを指す</p>		<p>主催 CEATEC JAPAN実施協議会 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)</p> <p>後援 総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省 他</p> <p>協力 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</p>									
展示会概要		ポイント									
<p>日程 平成28年10月4日(火)～10月7日(金)</p> <p>開催場所 幕張メッセ</p> <p>参加人数 130000名程度(2015年度実績ベース)</p> <p>テーマ つながる社会、共創する未来</p> 		<p>① CPS/IoTで変わる未来の社会や技術を体験できるエリア構成に刷新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>社会エリア</th> <th>街エリア</th> <th>家エリア</th> <th>CPS/IoTを支えるテクノロジー/ソフトウェアエリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会インフラ・スマートシティ・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント</td> <td>街づくり・スマートシティ・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント</td> <td>スマートホーム・スマートビル・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント</td> <td>クラウド・ビッグデータ・AI・IoT・セキュリティ・ブロックチェーン・量子技術・宇宙技術・ロボット技術・VR/AR・3Dプリンタ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※GPSとは、サイバーフィジカルシステムの略称。ITと物理的なデバイスや機械を接続した高度システムのこと。 ※IoTとは、インターネットオブシングスの略称。様々な「モノ(物)」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みである。</p> <p>② 東京オリンピック・パラリンピック関連組織との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストスピーカーの実施 平成28年10月4日(火) 13:00～13:45 「経済・テクノロジー公認プログラム キックオフアクション」 「2020年を契機としたレガシー創出へ向けての取組(仮称)」 古宮副総長 登壇予定 ・経済界協議会の展示と連携した、ライセンスグッズ販売の実施 ■ 経済界協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・レガシーづくりを目指した最先端テクノロジーの発信 ・復興支援を目的とした展示の実施 <p>③ 国内外トップが集う前夜祭となるレセプションパーティを新たに開催</p> <p>④ 政府、在日各国大使館、他産業界と連携した各種コンファレンスや企画を展開 14</p>		社会エリア	街エリア	家エリア	CPS/IoTを支えるテクノロジー/ソフトウェアエリア	社会インフラ・スマートシティ・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント	街づくり・スマートシティ・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント	スマートホーム・スマートビル・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント	クラウド・ビッグデータ・AI・IoT・セキュリティ・ブロックチェーン・量子技術・宇宙技術・ロボット技術・VR/AR・3Dプリンタ
社会エリア	街エリア	家エリア	CPS/IoTを支えるテクノロジー/ソフトウェアエリア								
社会インフラ・スマートシティ・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント	街づくり・スマートシティ・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント	スマートホーム・スマートビル・スマート工場・スマート農業・スマート物流・スマートエネルギー・スマートヘルスケア・スマートエンターテインメント	クラウド・ビッグデータ・AI・IoT・セキュリティ・ブロックチェーン・量子技術・宇宙技術・ロボット技術・VR/AR・3Dプリンタ								

5. 主なアクション事例

復興

東京都及び被災三県(岩手県、宮城県、福島県)等による事業

事業主旨		岩手県	
<ul style="list-style-type: none"> ● 東京2020大会を被災地復興の足がかりとするため、被災地においてスポーツ・文化等に関連した各種事業を展開。 ● 東京都は、スポーツを通じて被災地に夢と希望を与えることで、子供たちの心のケアや地域復興の一助となるよう、アスリート派遣事業を実施。 ● 被災三県(岩手県、宮城県、福島県)においては震災の記憶の風化防止や風評被害払拭のための取組を実施していく。東京2020大会が生まみ出す影響を復興の後押しとするべく、スポーツだけでなく文化等の取組や、ボランティア意識の醸成のための取組を推進。 		<p>事業名 いわて復興未来塾</p> <p>日程 平成29年3月18日(土)</p> <p>場所 盛岡市内</p> <p>主催 いわて未来づくり機構(岩手県)</p> <p>内容 復興の先を見据えた取組をテーマにした、大学教授等による基調講演及びパネルディスカッション</p>	
東京都		宮城県	
<p>事業名 被災地支援事業(アスリート派遣事業)</p> <p>日程 平成28年度下半期、随時実施</p> <p>場所 被災三県(岩手県、宮城県、福島県)の学校、スポーツ施設</p> <p>対象 被災地の生徒・児童等</p> <p>開催計画 10月1日宮城県石巻、10月中旬福島県、岩手県(調整中)</p> <p>主催 東京都、一般社団法人日本アスリート会議</p> 		<p>事業名 2020年東京オリンピック・パラリンピック強化支援対策事業</p> <p>日程 平成28年10月から開始</p> <p>対象 宮城県にゆかりのある選手が対象(同県の出身者、在住者、県内チームに在籍、過去に在籍等を含む)</p> <p>主催 宮城県</p> <p>内容 東京2020大会での活躍が期待される選手への強化活動費支援</p>	
組織委員会		福島県	
<p>事業名 いわて国体への東京2020大会のPRブース展開</p> <p>日程 平成28年10月1日(土)</p> <p>場所 岩手県 いわて国体式典会場 わんこ広場</p> <p>主催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</p> <p>内容 映像コンテンツの放映、各種資料の提供による東京大会の紹介</p>		<p>事業名 「地域のたから」民俗芸能継承事業 -ふるさとの祭り2016-</p> <p>日程 平成28年11月5日(土)～11月6日(日)</p> <p>場所 白河市立図書館駐車場</p> <p>主催・共催 福島県、ふるさとの祭り実行委員会</p> <p>内容 祭りや民俗芸能の披露、体験等</p>	
		<p>事業名 復興支援イベント ※認証開始日以前のイベントのため認証対象外</p> <p>日程 平成28年9月30日(金)</p> <p>場所 熊本県内中学校(木山中学校、益城中学校)</p> <p>主催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</p> <p>内容 アスリートとの交流イベント(実技及び講話等)</p>	

5. 主なアクション事例

オールジャパン・
世界への発信

小中学生からのポスター募集企画

事業趣旨	
●	東京2020大会の機運醸成を目的として日本全国の小中学校及び海外の日本人学校等からオリンピック・パラリンピックを題材としたポスターを募集。
●	ポスターを製作する生徒・児童のオリンピック・パラリンピックへの関心の高まりを期待するとともに、自治体等が開催するスポーツや文化のイベント会場における作品の掲出を促すことで、より多くの人々への効果も期待できる。
●	日本全国の学校、自治体、関係省庁との連携を図り、オールジャパンでの機運醸成に資するものとしていく。

事業概要	
日程	募集期間：平成28年7月～平成28年11月末迄 作品の掲出：平成28年12月以降
テーマ	①リオオリンピック・パラリンピック大会で心に残ったこと ②東京2020大会に期待すること
対象	小学校5年生・中学校2年生及び特別支援学校の小学部5年・ 中学部2年(他学年での実施も可)
応募数見込	各学校からの代表作品は各学校1枚程度とする。 学校における応募作品が50枚を超える場合には50枚につき1枚を加算できる。 <参考：昨年度実績> ・総数(うち、海外) 代表作品数：919点(65点) ・応募数：11,493点(416点) 代表作品数：919点(65点) ・学校数：664校(48校)
作品の利用	組織委員会に送付された代表作品については、組織委員会の広報活動での活用や各種イベントでの掲出のほか、自治体等が実施するイベントでの掲出を予定。

主催	
主催	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

スケジュール																																									
●	募集から活用にかけてのスケジュールは以下の通り。特に企画の周知についてはスポーツ庁と全国の教育委員会等の協力を得て実施。																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織委員会</td> <td>募集の周知</td> <td>リオ2016大会 オリンピック 8/5～8/21 パラリンピック 9/7～9/18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>WEBでの公開 イベント等での掲出</td> </tr> <tr> <td>教育委員会等</td> <td>経由</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校(児童・生徒)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>代表作品選出</td> <td>提出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">ポスター制作</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	組織委員会	募集の周知	リオ2016大会 オリンピック 8/5～8/21 パラリンピック 9/7～9/18					WEBでの公開 イベント等での掲出	教育委員会等	経由							学校(児童・生徒)				代表作品選出	提出							ポスター制作			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月																																		
組織委員会	募集の周知	リオ2016大会 オリンピック 8/5～8/21 パラリンピック 9/7～9/18					WEBでの公開 イベント等での掲出																																		
教育委員会等	経由																																								
学校(児童・生徒)				代表作品選出	提出																																				
				ポスター制作																																					

参考：組織委員会HP

6. その他の認証アクション(9月27日時点認証済み)

分野	事業名	申請主体	日程 (H28年度)	実施場所等
スポーツ・健康	都立学校活用促進モデル事業	東京都	(9月～) 10月～H32年12月	都立特別支援学校
スポーツ・健康	東京2020大会を目指すアスリート発信事業	埼玉県	10月～3月	(株)テレビ埼玉
スポーツ・健康	オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント パラリンピック競技体験デー	中野区	10月8日	中野体育館
スポーツ・健康	市民スポーツフェスティバル	武蔵野市	10月10日	武蔵野総合体育館
スポーツ・健康	障がい者スポーツ体験教室 in いたばし区民まつり	板橋区	10月15日	板橋第一小学校体育館
スポーツ・健康	トップアスリートによるスポーツ教室 ～ THE ROAD TO TOKYO 2016 in いたばし区民まつり ～	板橋区	10月16日	板橋第一小学校体育館
スポーツ・健康	シルバースポーツ大会	武蔵野市	10月16日	武蔵野陸上競技場
スポーツ・健康	感動をありがとう！ イベント in TAMA ～リオ2016大会～	多摩市	10月17日	パルテノン多摩
スポーツ・健康	渋谷区キックオフイベント	渋谷区	10月29日	渋谷区スポーツセンター
文化	Music Program TOKYO 『Enjoy Concerts!』メインコンサート 小曾根 真&ゴンサロ・ルバルカバ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団	東京都	10月1日～2日	東京文化会館
文化	平成28年度(第71回)文化庁芸術祭オープニング国際音楽の日記念・ 国立劇場開場50周年記念 「歌い 踊り 奏でる 日本の四季」	文化庁	10月1日	国立劇場
文化	第23回 BeSeTo演劇祭 新潟	新潟市	10月1日～15日	りゅーとびあ 新潟市民芸術劇場
文化	1964年から2020年東京オリンピック・パラリンピックへ未来をつなぐレガシー展	読売新聞 東京本社	10月～H29年6月	羽田空港 ディスカバリーミュージアム
文化	第33回読売書法展	読売新聞 東京本社	10月～12月	サンメッセ香川 他

6. その他の認証アクション(9月27日時点認証済み)

分野	事業名	申請主体	日程 (H28年度)	実施場所等
文化	京都文化カプロジェクト2016-2020 公開ワークショップin南丹	京都府	10月16日	ガレリア亀岡
文化	パナソニックセンター東京 特別企画展	パナソニック株式会社	10月18日～12月4日	パナソニックセンター東京
文化	文化芸術資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～	文化庁	10月19日	ロームシアター京都
文化	国民文化祭・あいち2016	文化庁	10月29日～12月3日	愛知県芸術劇場
文化	障がい者アートフェスタ2016	鳥取県	10月30日～11月1日	米子コンベンションセンター
文化	東京2020公認プログラム 近藤良平とハンドルズによるダンス公演 「どうしても やりたいことが ありまして」	埼玉県	11月12日～13日	彩の国さいたま芸術劇場
文化	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた埼玉県の文化事業 キックオフイベント	埼玉県	11月20日	ソニックシティ大ホール
文化	伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2016～	八王子市	11月26日～27日	八王子駅周辺
文化	第5回記念大会全国高校生伝統文化フェスティバル 第3回全国高校生茶道フェスティバル	京都府	12月17日～18日	京都コンサートホール 他
文化	埼玉伝統芸能フェスティバル	埼玉県	12月18日	彩の国さいたま芸術劇場
教育	基調講演「スポーツの無限のカ ～オリンピックがつなぐ人、夢、希望～」	朝霞市	11月11日	ゆめばれす (朝霞市民会館)
経済・ テクノロジー	ユニバーサル未来社会体験プロジェクト	文部科学省	10月19日～21日	東京ビックサイト
オールジャパン・ 世界への発信	オリンピック・パラリンピックと立川 ～東京1964から東京2020に向けて～	立川市	10月11日～31日	立川市窓口サービスセンター・多目的プラザ

7. 東京2020教育プログラムの構成（主なもの）

事業名	実施主体	概要	マーク
東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校の事業	学校（国・公・私）	オリンピック・パラリンピック教育を体系的に推進する学校の事業	公認マーク
スポンサー、東京都、政府等による事業	スポンサー 東京都 政府 等	スポンサーの特徴を生かしたプログラムや、オリンピック・パラリンピックの価値を次世代に伝えるための東京都、政府等による事業・イベント	
大学、非営利団体等の教育プログラム	大学 非営利団体	大学等が各々の専門性を活かした授業・研究等や、非営利団体が地域・学校を対象に企画する事業	応援マーク

8. オリンピック・パラリンピック教育実施校の事業

特徴

●組織委員会が、都道府県教育委員会や学校に対し、組織委員会が用意する教育パッケージを活用したオリンピック・パラリンピック教育に、組織委員会と協働して取り組むことを呼びかける。

【学校】

全国の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校（国・公・私）

【教育パッケージ】

- ・学習教材（組織委員会が作成、又は認めたもの）
- ・公認マークの使用
- ・名称「ようい、ドン！スクール」「オリンピック・パラリンピック教育実施校」の使用
- ・スポンサー企業が作成する教育プログラムの活用

●都道府県教育委員会や学校の申請を受け、組織委員会は、申請した学校の取組を総合的に審査し、認証する（基本的に、認証後は、2020年大会まで継続）。

●組織委員会は、「ようい、ドン！スクール」に認証された学校事業の中から、様々なアクションを実施。

8. オリンピック・パラリンピック教育実施校の事業

認証の基準

- 東京2020ビジョンに合致している。
- 学校全体で取組を行い、様々な教科や教育活動を通じて総合的に学習を行っている。
- オリンピックの価値（卓越、友情、敬意/尊重）・パラリンピックの価値（勇気、決断、平等、鼓舞）を学習している。
- 組織委員会が作成する又は認める学習教材等に基づいた年間指導計画を用意しており、計画的に取組を実施している。

<参考>

東京2020ビジョン	
全員が自己ベスト	<ul style="list-style-type: none">➢ これまでにない新しい取組にチャレンジ➢ 子供たちが新しい経験を得ることができる取組み
多様性と調和	<ul style="list-style-type: none">➢ 人種や地域、世代等を超えた交流➢ 国際交流や障がい者への理解を促進する取組み
未来への継承	<ul style="list-style-type: none">➢ 2020大会で築いたつながりや取組を大会後も継続して実施できる仕組み➢ 子供たちが将来に向かい様々なチャレンジを試みる意欲を鼓舞する取組み

8. オリンピック・パラリンピック教育実施校の事業

スケジュール

- 2016年10月：認証の申請受付を開始
(対象：東京都内、競技会場都市、スポーツ庁から推薦のあった学校)

(参考) 年内には、先行実施している下記の学校の事業を認証予定

- ・東京都内の公立学校：2,154校
- ・スポーツ庁「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業」対象校（全国約200校）

- 2017年4月：スポーツ庁と連携し、オリンピック・パラリンピック教育実施校の認証対象を、全国に展開

*今後、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組む学校の表彰や、オリンピック・パラリンピック教育実施校の児童・生徒による2020年大会への関わり方を検討。

9. 東京2020参画プログラムの課題

- ステークホルダー（政府、都、自治体、スポンサー等）より、参画プログラムの盛り上げに向けた要望等あり、今後対応を検討していきたい。

【必要な方策（案）】

■参画プログラムの認知拡大・共感の向上

- 団体・一般向けの参画プログラムおよびマークの認知拡大
- 多様なチャネル・ツールを通じた積極的な情報発信・PR
(10月6日掲載予定の機運醸成新聞広告(朝日・読売・毎日・日経4紙)内でも告知)
- ステイクホルダーとの丁寧なコミュニケーションと共感づくり

■参画の輪を広げるための仕組みの構築

- 申請しやすい簡素な方法の追求
- 日本全国から直接アクセスできる仕組み（WEBを通じた直接申請等）



リオ大会期間の現地活動に関する報告

2016年9月29日

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

1 Tokyo 2020 JAPAN HOUSE

- 1 来場者数： **82,129名**
(オリンピック期間中：67,266名、パラリンピック期間中：14,863名)
※ メディア内覧会、レセプション含む
- 2 取材数： **延べ716媒体 1,360人**
【海外メディアによる取材】
O Globo、TV Globo、Band TV の他、多数のブラジルメディア
FOX Sports (アメリカ)、AP (アメリカ)、NBC (アメリカ)、Sky News (イギリス)、
BBC (イギリス)、Thomson Reuters (イギリス)、AFP (フランス)、CCTV (中国)、
CH3 Thailand (タイ)、TV Vietnam (ベトナム)、Seven News Australia (オーストラリア) 他



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(オリンピック)

◆リハーサル及び本番スケジュールについて

日	時間	実施場所	リハーサル内容
8月10日	14:00~19:00	CIAA	テクニカル/ボランティアリハーサル
8月11日	11:00~19:00	CIAA	テクニカル/ボランティアリハーサル
8月12日	13:00~19:00	CIAA	キャストリハーサル
8月13日	10:00~19:00	CIAA	キャストリハーサル
8月14日	10:00~19:00	CIAA	キャストリハーサル
8月15日	移動・搬入日		
8月16日	10:00~13:00/17:00~21:00	1to1	キャストリハーサル
8月17日	10:00~13:00/17:00~21:00	1to1	キャストリハーサル
8月18日	14:00~17:30	1to1	キャストリハーサル
8月19日	各種メンテナンス		
8月20日	11:00~19:00	CIAA	キャストリハーサル ※動き確認のみ
8月21日	本番		

◆関係者数について

- ・キャストおよびボランティア人数
→ダンサー30名、青森大学20名、CIAAボランティア60名
- ・運営に関わった全人数
→総勢290名

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(オリンピック)

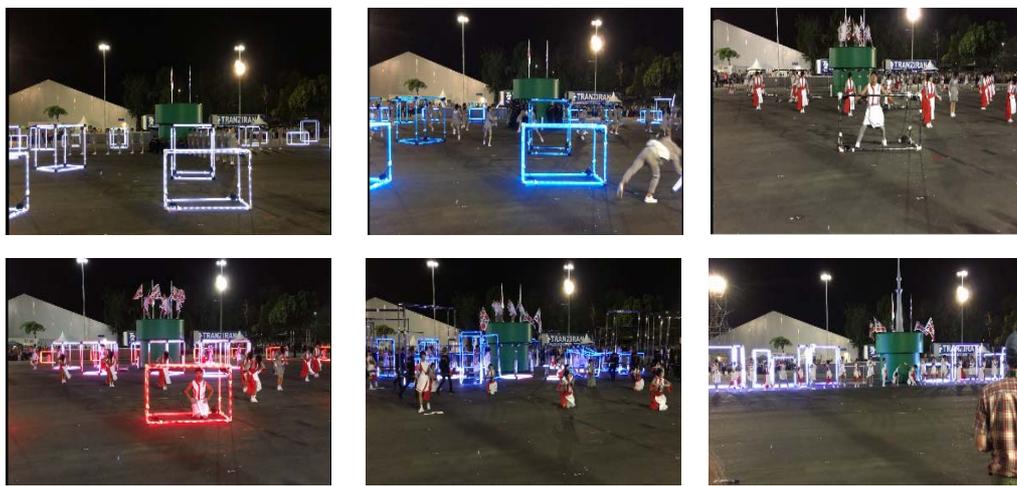
CIAAリハーサル写真



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(オリンピック)

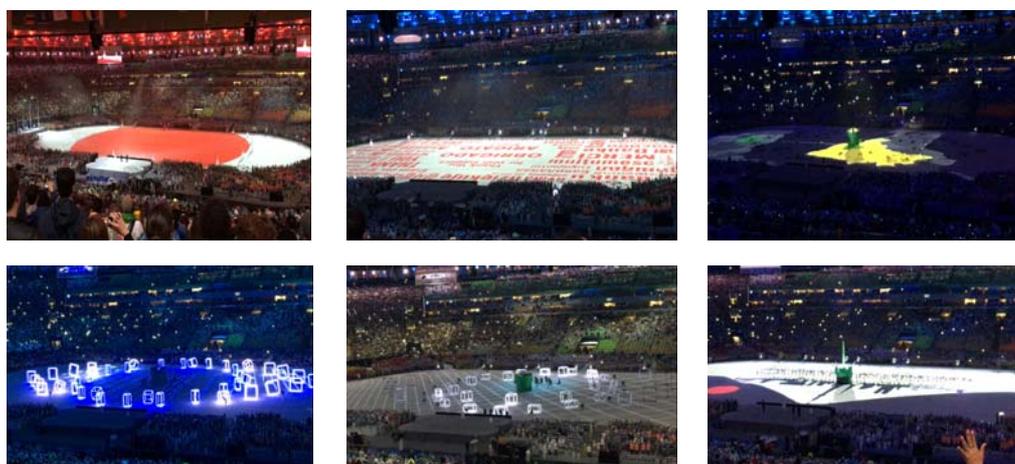
1to1リハーサル写真



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(オリンピック)

閉会式写真



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(パラリンピック)

◆リハーサル及び本番スケジュールについて

日	時間	実施場所	リハーサル内容
9月12日	9:00~16:00	CIAA	キャストリハーサル
9月13日	10:00~18:00	CIAA	キャストリハーサル
9月14日	13:00~18:00	CIAA	キャストリハーサル
9月15日	移動・搬入日・テクニカルリハーサル		
9月16日	18:00~22:30	マラカナン	キャストリハーサル
9月17日	10:30~12:00/18:00~23:00	マラカナン	キャストリハーサル
9月18日	本番		

◆キャストについて

GIMICO、大前光市、檜山晃、AyaBambi(2名)

ダンサー(4名)、ダウン症ダンサー(2名)、車いすダンサー(4名)、アカンパニスト(4名)

合計19名
※敬称略

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(パラリンピック)

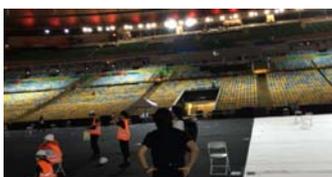
CIAAリハーサル



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(パラリンピック)

テクニカルリハーサル



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(パラリンピック)

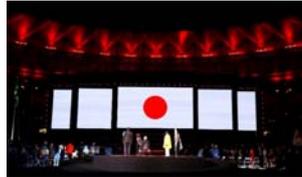
マラカナンリハーサル



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

2 フラッグハンドオーバーセレモニー(パラリンピック)

閉会式



【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

3 オブザーバープログラム(オリンピック)

Rio2016オリンピック

『オブザーベーション&エクスペリエンスプログラム』

(1) 意義

今まで机上で想定してきた大会オペレーションを本番時に実地で体験・検証できる、オリンピック(夏季大会)としてはTokyo2020にとって最初で最後の貴重な機会。

(2) 目的

プログラムを通じ得られたノウハウ・知見を、自分たちの大会成功に向けた準備および本番のオペレーションに活かすこと。

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

3 オブザーバープログラム(オリンピック)

(3) 『オブゼーション&エクスペリエンスプログラム』概要

	『オブゼーション&エクスペリエンスプログラム』		
	オブザーバープログラム	セルフオブゼーション	シャドーイング
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●IOCが設定したレディメイドプログラム ●参加候補者は、コマ毎のIOC推奨FAから選出 ●IOC/Rio2016による審査・承認が必要 ●座学又はサイトビジット 	<ul style="list-style-type: none"> ●目的を共有するメンバーがグループ単位で企画するオーダーメイドプログラム ●IOC/Rio2016へ申請・承認が必要 ●サイトビジット 	<ul style="list-style-type: none"> ●目的意識を持った個人が独自に企画するオーダーメイドプログラム ●現場担当者と終日行動を共にする ●IOC/Rio2016へ申請・承認が必要 ●サイトビジット
対象	・次期以降大会組織委員会（今回は東京2020・平昌2018・北京2022） ・オリンピック東京大会開催都市（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）+JSC+東京電力 ・2024オリンピック候補都市（今回はパリ・ローマ・ブタペスト・ロサンゼルス） ・東京2020新競技IF（5競技）		
実施数	IOC設定77コマ	承認15件 (VILは別途実施)	承認59件 (SPT・TEC・VEMは別途実施)
規模	10～15名/コマ	3～5人/件	1名/件
東京2020参加者数	142人	セルフのみ参加：7人	シャドーのみ参加：5人
	合計204人（スポーツマネージャー29人、事務局6人・通訳15人含み）		

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

3 オブザーバープログラム(パラリンピック)

Rio2016パラリンピック 『IPC アカデミーキャンパス』

(1) 意義

今まで机上で想定してきた大会オペレーションを本番時に実地で体験・検証できる、オリンピック(夏季大会)としてはTokyo2020にとって最初で最後の貴重な機会。

(2) 目的

プログラムを通じ得られたノウハウ・知見を、自分たちの大会成功に向けた準備および本番のオペレーションに活かすこと。

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

3 オブザーバープログラム(パラリンピック)

(3) 『IPCアカデミーキャンパス』概要

	『IPCアカデミーキャンパス』		
	オブザーバープログラム	セルフオブザベーション	シャドーイング
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●IPCが設定したレディメイドプログラム ●参加候補者は、コマ毎のIPC推奨FAから選出 ●IPCによる審査・承認が必要 ●座学又はサイトビジット 	<ul style="list-style-type: none"> ●目的を共有するメンバーがグループ単位で企画するオーダーメイドプログラム ●IPC/Rio2016へ申請・承認が必要 ●サイトビジット 	<ul style="list-style-type: none"> ●目的意識を持った個人が独自に企画するオーダーメイドプログラム ●現場担当者と終日行動を共にする ●IPC/Rio2016へ申請・承認が必要 ●サイトビジット
対象	・次期以降大会組織委員会（今回は東京2020・平昌2018・北京2022） ・オリンピック東京大会開催都市（東京都）+JSC・電通・東京海上・NTT・総務省・内閣官房 ・2024オリンピック候補都市（今回はパリ・ローマ・アタベスト・ロサンゼルス）		
実施数	IPC設定77コマ	承認90件 (VILは別途実施)	承認15件 (SPTは別途実施)
規模	10～15名/コマ	3～5人/件	1名/件
東京2020参加者数	90人	オブザーバープログラム参加者に含む	オブザーバープログラム参加者に含む
	合計113人（事務局7人・通訳16人含む）		

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

4 ライブサイト

東京 2020 ライブサイト in 2016 -リオから東京へ-

○実施日程・来場者数

会場		オリンピック期間	パラリンピック期間
東京都	上野恩賜公園	8月6日(土)～22日(月)	9月8日(木)～19日(月祝)
	国営昭和記念公園	8月6日(土)・7日(日)、11日(木祝)～14日(日)、20日(土)～22日(月)	9月10日(土)・11日(日)、17日(土)～19日(月祝)
岩手県	もりおか歴史文化館前 ※オリンピック期間 ふれあいランド岩手 ※パラリンピック期間	8月6日(土)	9月11日(日)
宮城県	勾当台公園市民広場	8月13日(土)・14日(日)	9月15日(木)
福島県	あづま総合体育館	8月21日(日)・22日(月)	9月19日(月祝)
来場者数		21.2万人	13.5万人
合計		35万人	

○実施体制

主催 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、東京都
 後援 公益財団法人日本オリンピック委員会
 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
 岩手県、宮城県、福島県、盛岡市、仙台市
 協力 NHK、一般社団法人日本民間放送連盟
 協賛 日本生命保険相互会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社明治、株式会社LIXIL、東京地下鉄株式会社

【報告】リオ大会期間の現地活動に関する報告

4 ライブサイト

東京 2020 ライブサイト in 2016 -リオから東京へ-

○主な実施コンテンツ

- ・競技放送 大型ビジョンによる大会の生中継・録画放映と競技解説
- ・ステージ 競技紹介・トークショー、ダンス、楽器演奏、伝統芸能披露等
- ・競技体験 トランポリン、ボッチャ、クライミング、NF体験コーナー(臨時)等
- ・東京2020パートナーエリア 記念撮影スポット、キッズコーナー等
- ・大会公式グッズ販売エリア 東京2020大会公式グッズ等を販売
- ・情報発信エリア リオ2016大会や東京2020大会に関する情報を発信



上野恩賜公園

○協力団体・アスリート

- ・競技放送の解説(開会式・閉会式を含む)、ステージ
アスリート委員会(河合純一、田口亜希、萩原智子、齋藤里香*)*齋藤氏はオリ閉会式のライブサイトが台風中止のためご出演なし
リオ大会メダリスト(三宅宏実、羽根田卓也、水谷隼、吉村真晴、広瀬誠、藤本聡)
- アスリート(青木愛、朝原宣治、早田卓次、村田諒太、山本博 他)
- NF(日本ウエイトリフティング協会、日本カヌー連盟、日本卓球協会、日本視覚障害者柔道連盟、日本自転車競技連盟、日本バレーボール協会、日本バスケットボール協会、日本ハンドボール協会、日本パラ・パワーリフティング連盟、日本車椅子バスケットボール連盟、日本パラ陸上競技連盟、日本ウィルチアアレーグビー連盟、日本馬術連盟)
- 都内及び東北3県の地元自治体、学校・団体等
- 大学連携(岩手大学、仙台大学、宮城大学、東北大学)
- ・競技体験
日本ラグビーフットボール協会、日本体操協会、日本馬術連盟、日本卓球協会、日本ハンドボール協会、日本車椅子バスケットボール連盟、日本パラ・パワーリフティング連盟、日本ブラインドサッカー協会

【報告】 リオ2016大会期間中の広報について

1. メディアへの広報機会

主なトピック

- 東京2020カウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 4 Years to Go!!」
- IOC総会 東京2020プレゼンテーション、オリンピック追加種目決定
- IPC理事会 東京2020パラリンピック 5人制サッカー競技会場承認
- Tokyo 2020 JAPAN HOUSE メディア内覧会、
オープニングセレモニー、レセプション
- 東京2020ライブサイト in 2016
- リオ2016パラリンピック聖火リレー
- 東京2020記者会見、FHOパフォーマー記者会見
- 閉会式翌日記者対応
- オブザーバープログラム受講者による記者ブリーフィング
- リオオリンピック視察に関する記者ブリーフィング
- オリンピックフラッグ到着歓迎式
- オリンピック・パラリンピック フラッグ掲揚式



TOKYO 2020

【報告】 リオ2016大会期間中の広報について

2. 取材対応

□東京2020 JAPAN HOUSE

716媒体 | 1,360人 (国内519媒体/国際197媒体)

うち、東京2020関連取材 292媒体 | 923人

ほか、オブザーバープログラム受講者による記者ブリーフィング 18媒体 | 28人

□東京 2020 MPCオフィス

[個別取材対応] 95媒体 (国内60媒体/国際35媒体)



TOKYO 2020

【報告】リオ2016大会期間中の広報について

3. TV露出等

✓TV露出

総時間 85時間41分45秒

8月4日～9月23日の間、東京キー局6局（NHK総合・日本テレビ・TBS・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京）の報道・情報系番組（1日約70番組）の報道内容から、「2020東京五輪」「2020オリンピック」「パラリンピック」等のキーワードに言及した部分の時間

✓新聞掲載

記事総数 2,963件 ※8月1日～31日

読売、朝日、日経、毎日、産経のほか、各種スポーツ新聞に連日、記事が多数掲載

※注）13紙（上記5紙、スポーツ紙及び地方紙）において、「東京2020オリンピック・パラリンピック」「東京2020組織委員会」「東京オリンピック」「東京五輪」「東京パラリンピック」等のキーワードが見出しに入っていた記事の総数

TOKYO 2020

【報告】リオ2016大会期間中の広報について

4. 情報発信①

□新聞パートナーVIKを活用した機運醸成（8月4日掲出）

- 新聞パートナーVIKを活用し、読売、朝日、日経、毎日に全面広告を掲載
- 発行部数 計約2,000万部



□パラリンピック競技紹介動画

- 柔道、水泳、陸上、ゴールボール及びウィルチェアラグビーの5種類（各15秒）
- 公式ウェブサイト及びSNSに掲載
- 総視聴回数 約15.6万回（のべ回数）

※9月20日現在



TOKYO 2020

【報告】 リオ2016大会期間中の広報について

4. 情報発信② [デジタルメディア施策]

1. 公式サイト

アクセス数

- ✓ 大会期間中の言語別日別平均PV数は、日本語ページで約1.4～3倍（34,723～75,788pv）、英・仏語ページで約1.6～11倍（8,041～49,949pv）増加（前月同期比）
- ✓ 最大のPV数を記録したのは、オリンピック閉会式（526,407pv/3言語） ※日別PV数としては過去最高

2. SNS

(1) Facebook 大会期間投稿数 計95件

主な投稿：Facebook LIVE（メダリスト記者会見）、360度カメラ（パラリンピックのみ）、国内ライブサイトの模様、各種イベントの告知

フォロワー数 大会開催前比 16%増 510,516 ※増分のうち、6割がオリンピック閉会式後

(2) Twitter 大会期間投稿数 計338件

主な投稿：メダリストへのQ&A、チャレンジャー、各種イベントの告知

フォロワー数 日本語版 大会開催前比 8%増 232,174

英語版 大会開催前比 311%増 71,211



TOKYO 2020

I O C 総会（報告）

1 開催期間

平成28年8月1日（月）～4日（木）、21日（日）

*東京2020のプレゼンテーションは8月3日（水）

2 開催場所

リオデジャネイロ

3 東京2020出席者（プレゼンテーション）

森会長、武藤事務総長 等

4 プレゼンテーション内容

○ 東京2020の進捗状況について

東京2020大会ビジョン、アスリート委員会、競技会場、
アクション&レガシー、事前キャンプガイド、
東京2020ジャパンハウス、ライブサイト

○ 追加種目について

東京2020がパッケージとして提案していた5競技18種目を、
満場一致で採択

会場予定地についても公表

競技名	会場予定地
野球/ソフトボール	横浜公園野球場（横浜スタジアム）
空手	日本武道館
スケートボード	青海（あおみ）
スポーツクライミング	
サーフィン	釣ヶ崎海岸（志田下ポイント）

※会場予定地は、12月のI O C理事会において最終承認される予定

IPC理事会（報告）

1 開催期間

平成28年9月5日（月）

2 開催場所

リオデジャネイロ

3 東京2020の進捗状況報告（プロGRESS・レポート）内容

- ・東京2020大会ビジョン、エンブレム
- ・組織体制
- ・スポーツ、競技会場
- ・アクセシビリティ
- ・持続可能性
- ・ライセンスプログラム
- ・人材管理
- ・アクション&レガシー
- ・コミュニケーション、エンゲージメント

4 競技会場

「5人制サッカー」の会場については、追加種目のスケートボード・スポーツクライミングの会場予定地である「青海（あおみ）」とすることを、本年12月のIOC理事会で承認されることを前提に、承認された。なお、「自転車競技（ロード・レース）」の会場は、引き続き協議することとなった。

東京2020 スポンサー
(平成28年9月29日時点)

○ゴールドパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成27年1月26日(月)	日本電信電話株式会社(NTT)	通信サービス
2	1月27日(火)	アサヒビール株式会社	ビール&ワイン
3	2月18日(水)	キヤノン株式会社	スチルカメラおよびデスクトップ・プリンター
4	2月19日(木)	日本電気株式会社(NEC)	パブリックセーフティ先進製品(生体認証、行動検知・解析、ドローン)、ネットワーク製品(SDN、有線ネットワーク、無線ネットワーク)
5	2月19日(木)	富士通株式会社	データセンターハードウェア
6	3月18日(水)	JXエネルギー株式会社	石油、ガス、電気供給
7	3月20日(金)	東京海上日動火災保険株式会社	損害保険
8	3月20日(金)	日本生命保険相互会社	生命保険
9	3月25日(水)	野村ホールディングス株式会社	証券
10	4月6日(月)	株式会社アシックス	スポーツ用品(スポーツアパレル及び競技用具)
11	4月14日(火)	株式会社みずほフィナンシャルグループ	銀行
12	4月14日(火)	株式会社三井住友フィナンシャルグループ	銀行
13	4月20日(月)	三井不動産株式会社	不動産開発
14	10月16日(金)	株式会社明治	乳製品、菓子
15	11月26日(木)	株式会社LIXIL	住宅設備部材及び水回り備品

東京 2020 スポンサー
(平成 28 年 9 月 29 日時点)

○ パラリンピックゴールドパートナー

IOC と契約するオリンピック TOP パートナーのうち、東京 2020 パラリンピック競技大会の権利を取得しているパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	※	Atos	情報技術
2	※	OMEGA	時計計測システム等
3	平成 28 年 3 月 10 日 (木)	株式会社ブリヂストン	タイヤ及びゴム製品 (免震ゴム等)
4	平成 28 年 8 月 25 日 (木)	パナソニック株式会社	AV機器、白物家電、電動自転車、福祉関連商品 (福祉用バスルーム、福祉用洗面台、福祉用バスルーム、福祉用洗面台、Theシャワー、福祉用ホームエレベーター)、パワーアシストスーツ

※ Atos, OMEGA は、マーケティングプラン契約 (東京 2020 と IOC の間で 2014 年 11 月 14 日に締結) において、東京パラリンピック競技大会の権利を付与されることが定められている。

東京 2020 スポンサー
(平成 28 年 9 月 29 日時点)

○オフィシャルパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成 27 年 6 月 15 日 (月)	全日本空輸株式会社	旅客航空輸送サービス
2	6 月 15 日 (月)	日本航空株式会社	旅客航空輸送サービス
3	7 月 27 日 (月)	東京ガス株式会社	ガス・ガス公共サービス
4	8 月 10 日 (月)	ヤマトホールディングス株式会社	荷物輸送サービス
5	8 月 20 日 (木)	日本郵政株式会社	郵便
6	10 月 20 日 (火)	セコム株式会社	セキュリティサービス&プランニング
7	10 月 20 日 (火)	総合警備保障株式会社	セキュリティサービス&プランニング
8	平成 28 年 1 月 22 日 (金)	株式会社読売新聞東京本社	新聞
9	1 月 22 日 (金)	株式会社朝日新聞社	新聞
10	1 月 22 日 (金)	株式会社日本経済新聞社	新聞
11	1 月 22 日 (金)	株式会社毎日新聞社	新聞
12	2 月 24 日 (水)	TOTO 株式会社	水回り備品
13	2 月 29 日 (月)	三菱電機株式会社	エレベーター、エスカレーター、 ムービングウォーク
14	3 月 28 日 (月)	味の素株式会社	調味料、乾燥スープ、 アミノ酸ベース顆粒、冷凍食品
15	3 月 31 日 (木)	KNT-CT ホールディングス株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピ タリティサービス

東京 2020 スポンサー
(平成 28 年 9 月 29 日時点)

○オフィシャルパートナー (続き)

	発表日	企業名	カテゴリー
16	平成 28 年 3 月 31 日 (木)	株式会社ジェイティービー	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティサービス
17	3 月 31 日 (木)	東武トップツアーズ株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティサービス
18	4 月 15 日 (金)	キッコーマン株式会社	ソース (しょうゆ含む)、酢、みりん、料理酒
19	4 月 27 日 (水)	株式会社エアウィーヴ	寝具
20	6 月 7 日 (火)	東京地下鉄株式会社	旅客鉄道輸送サービス
21	6 月 7 日 (火)	東日本旅客鉄道株式会社	旅客鉄道輸送サービス
22	6 月 9 日 (木)	シスコシステムズ合同会社	ネットワーク製品
23	6 月 23 日 (木)	日清食品ホールディングス株式会社	カップ麺、袋麺、チルド麺、冷凍麺
24	7 月 5 日 (火)	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社	語学トレーニング
25	7 月 29 日 (金)	大和ハウス工業株式会社	施設建 & 住宅開発

立候補ファイル（8,000億円）について

● ロンドン大会（立候補ファイル）

	ハード (会場関係費)	ソフト (大会運営費)
組織委 (民間資金)		3,000
開催都市・ 国等	5,000	

計：8,000億円

● ロンドン大会（実際の経費）

	ハード (会場関係費)	ソフト (大会運営費)
組織委		6,000
開催都市・ 国等	7,500	9,500

計：2兆1,000億円（注1）

● 東京大会（立候補ファイル）

	ハード (会場関係費)	ソフト (大会運営費)
組織委 (民間資金)		3,500
開催都市・ 国等	4,000	500

計：8,000億円

立候補ファイルにおいては、ロンドン大会も東京大会もほぼ同じ規模

立候補ファイルでは開催都市・国の運営経費はほとんど計上されていないが、実際にはセキュリティ、輸送等の行政経費がかかっている

（注1） 公的部門から組織委への負担金の重複を除く。

（注2） 邦貨換算は、当時の為替レートによる。

立候補ファイルについて

1. 立候補ファイルの位置づけ：4つの制約

立候補ファイル（総額 8,000 億円）は、大会招致決定前の 7～8 年前に作成するものであり、以下のような制約があるもの。

① 基礎的要素しか計上されず

立候補都市間での比較を容易にするため、IOC は、各都市の個別状況は捨象し、基礎的な共通部分だけを取り出した数値を求めている。

（例）建築工事は、本体工事しか計上しておらず、設計・測量、撤去・現状復旧、等は算定されていない。

② 開催都市・国の経費は施設整備のみ

開催都市や開催国等の経費（4,500 億円）については、恒設施設の整備費が中心であり、運営に絡む行政経費の多くはカウントされていない。

（例）テロ対策に必要な資機材や公共交通輸送関連の経費は算定されていない。

③ 招致決定後の状況変化

招致決定後の状況変化によって、立候補当時では想定し得なかった経費が発生。

（例）サイバーセキュリティ対策や追加種目は算定されていない。

④ 招致を勝ち取るためのバイアス

招致決定前であるため、各都市とも、コストを抑えた全体像を造りこむ傾向。

2. ロンドン2012の例

上記の制約等により、ロンドンにおいては、立候補ファイルの経費は42億ポンド（約8,000億円）だったが、実際は117億ポンド（約2.1兆円）を要した。（出典：英国会計検査院報告書）

	<立候補ファイル>	<実際の経費>
組織委員会	約3,000億円	約6,000億円
開催都市・国等の会場等整備	約5,000億円	約7,500億円
行政施策等による運営支援		約9,500億円
<u>計</u>	<u>約8,000億円</u>	<u>約2兆1,000億円</u> (注1)
東京2020		
組織委員会	約3,500億円	
開催都市・国等の会場等整備	約4,000億円	
行政施策等による運営支援	約 500億円	
<u>計</u>	<u>約8,000億円</u>	

(注1) 公的部門から組織委への負担金の重複を除く。

(注2) 邦貨換算は当時の為替レートによる。

大会経費の見直しについて

1. 立候補ファイルの見直し

- 組織委は 2020 年大会の開催決定後に設立。まずは、招致委員会が立候補時点で IOC へ提出していた立候補ファイルに基づいて、大会準備を進めてきた。
- 計画を具体化するにつれ、当初の計画には無理な点があることが判明。立候補ファイル時の計画の見直しに着手。これはいずれの組織委でも経るプロセス。

2. 恒設施設の見直し

- 恒設施設の競技会場については、コストの大幅な増嵩が見込まれたことから、組織委員会と東京都で、2014 年 6 月から、既存施設の活用という方向で見直しを開始。
- 「既存施設の最大限の活用」は、2014 年 12 月に IOC が採択した「アジェンダ 2020」にも盛り込まれているが、この半年以上前から検討開始。東京サイドの検討が IOC の改革を後押し。
- 国際競技団体も当初は、招致時の約束は守れと猛烈に反対。これに対し、交渉を続け、2014 年 12 月以降は IOC とも共同路線を組んだ。その結果、昨年 2 月の理事会、昨年 6 月の理事会、そして昨年 12 月の理事会と三回の理事会にわたって、11 競技・12 会場の会場見直しを実現。
- 立候補ファイル時の「85%の競技会場を選手村から 8km 圏内に配置」という計画を、可能な限り、新規恒久施設や仮設会場を既存の施設に替えた。結果、「夢の島ユースプラザアリーナ」や「若洲オリンピックマリーナ」などの恒久施設について約 2,000 億円削減、これに加え、「ウォーターポロアリーナ」や「有明ベロドローム」などの仮設単体会場について約 500 億円削減。
- このほか、仮設であった「有明体操競技場」について、大会後すぐに取り壊すのではなく、大会後一定期間、展示場として有効活用する方針に見直し。
- IOC によれば、ここまで多くの会場見直しを行った例は無いとのこと。IOC バツハ会長、コーツ委員長も、組織委員会と東京都のコスト削減に向けた取り組みを評価。

3. 仮設施設の見直しと役割分担

- 恒設施設や新規の単体仮設についての見直しが一段落すると、次はオーバーレイと言われる仮設設備についての見直し。
- **仮設を巡る四つの問題点。**
 - 1. 仮設とされた経緯・定義が不明確
 - ◇ 立候補ファイルで、組織委が仮設について割り振られた経緯の詳細は承知していないが、恒設は大会後も残るので施設所有者、仮設は大会後は残らないので(施設所有者が観念できず)組織委員会という(単純な)整理ではなかったかと想定。
 - ◇ 他方、一口に「仮設」と言っても定義が不明確で、小規模なテントのようなものから、恒設施設に類するような大規模な競技場まで、非常に幅が広い概念。
(注)これまで「仮設」と大括りとされていた概念を、その類型に応じて区分するとすれば次の通り。
 - 仮設インフラ的なもの:原則、大会期間中使用し、大会後は撤去するもので、オリンピック施設として必要な水準まで整備する建物、設備等(例:競技会場となる建物(競技面、観客席、競技用照明等設備を含む)、外構、フェンス、競技会場建物等に必要となるインフラの引き込みなど)
 - オーバーレイ的なもの:オリンピック施設に追加されるもので、大会運営上、大会期間中だけ一時的に付加されるもの(各種コングレガティブ施設やPSA等として設置するテント、プレハブなど)
 - ◇ また、各競技施設について、仮設とするか恒設とするかについても、有明体操競技場のように、底地がいずれ別用途に使用される予定であることから仮設とされたものや、潮風公園のビーチバレーボール会場のように、公園管理上、恒設施設と出来ず仮設とされたものも存在するなど、便宜的な整理のものもあったと承知。
 - 2. コスト増。
 - ◇ 当初約 800 億円と見込んでいた仮設経費が恒設施設と同様に3~4倍になるとすると → 約 2800 億円。
 - ◇ 当初の計画を大きく上回る。物価高騰、資材高騰等の要因。立候補ファイルの積算の検証も必要。
 - 3. 対象施設の増。
 - ◇ 都の財政状況も勘案し、上述の通り、新規施設を既存の施設に置き換えた結果、都以外の近郊県に存する施設も含め、既存施設のオリンピック様式への変更の必要が生じ、結果として必要となる仮設オーバーレイが増えた。
 - 4. 再利用の観点。
 - ◇ 「仮設は大会後には残らない」ということで、当初再利用の視点は欠如。

- **仮設を巡る三つの視点**

- **I. 仮設についても、3Rの視点を入れる必要。**

- ◇ 仮設だから使ったら捨てるではなく、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の視点を仮設に入れる必要。
- ◇ 2020年で解散する組織委だけでなく、地元自治体・政府とも一体となって連携が必要。コストカットについても個々の施設でバラバラに行うのではなく、横串を刺す機能が必要。
- ◇ コストカットについては、リオ大会の検証も踏まえ、更に取り組む必要。組織委員会においては、既に外部のコンサルタントにコスト削減のオプションについての検討を依頼済み。

- **II. 次の視点を踏まえて、仮設負担のあり方の見直しの必要性**

- ◇ 組織委員会の主たる任務は仮設等施設整備ではなく、閣議決定にも記述されている通り、大会運営にある。
 - ✓ 「大会組織委員会が、大会運営主体として、大会の計画、運営及び実行に責任を持ち」
- ◇ 仮設コストなど会場整備関係経費が組織予算に占める割合は、リオ大会では 15%程度、ロンドン大会では 18.5%であり、その他は運営経費に振り向けられている。東京大会でもハード面(会場整備)、ソフト面(大会運営)のバランスはとる必要。賃料・営業補償についても同様の視点から検討が必要。

- **III. 仮設については、過去大会でも、組織委だけでなく、開催都市、政府と協力して取り組んでいる。**

- ◇ 立候補ファイルでは仮設は組織委員会と分類されていたが、リオにおいても、ロンドンにおいても、その関わりは様々であるが、仮設・オーバーレイは組織委だけでなく、開催都市・政府と協力して整備に当たっていた。
- ◇ 仮設にとどまらず、組織横断的な枠組みも存在。(ロンドンのODA, リオのAPO)

- 大会経費につき、コストカットに向けた不断の取り組みは当然である一方、こうした状況を受け、開催都市である都、ホスト国である政府とともに、三者が一体となって安全・安心・確実な大会準備・運営を行うために、仮設設備、営業補償、セキュリティ、輸送などを中心に、それぞれがどのような役割を担うべきか、協議を開始することについて、3 月末に会長、知事、大臣間で合意。その後、この会談を受けて、実務者を中心とした事務的協議を行っているところ。